

NPO紹介シート

作成日 平成19年5月26日

作成者 三好 弘二

法人格	フカナ	ヒトトシゼンノキズナツクルカイ	フカナ	マルヤマ ケンゾウ	団体設立日	平成17年12月31日
有	団体名	人と自然の絆を創る会	代表者名	丸山 賢三	法人設立日	平成18年5月30日
活動地域	愛媛県内		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア
主たる活動の種類	ホタルの飼育を通し、自然環境の改善提言		個人	11人	80人	有償
従たる活動の種類			団体	9団体	無償	3人
所在地	〒791-1121 松山市中野町甲21番地		単位千円	収入合計	会費	寄附金
TEL	089-985-1393		18年度	184	184	
FAX	089-985-1393		17年度			
Eメール	info@ai-humanature.org		16年度			
ホームページアドレス	http://www.ai-humanature.org/					

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 環境破壊による地球環境の悪化を後世に引き継がせたくない 地方からできる住民への環境改善意識の高揚をめざす 環境シンボルの生物飼育で自然環境への注目度を上げる ホタルやスズムシなどの心を癒す生物を育てる技術を確立したい 松山市内の拠点を定めてホタルを放流して定着させたい 特に道後エリアにホタルを飛ばして住民運動のひとつとしたい 	<p>(各32点満点)</p> <p>課題発見力 22</p> <p>財源開発力 22</p> <p>事業推進力 29</p> <p>組織育成力 26</p> <p>情報発信力 21</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ul style="list-style-type: none"> ホタルの飼育と放流先の整備 環境問題への積極的協力 市民農園の開設 	
主な活動実績	
<ul style="list-style-type: none"> 庚申庵、義安寺にホタルを飛ばす 地域住民（面河・道後祝谷北・松前上高柳）との連携 	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<p>この法人は、愛媛県下の市町とその住民に対して、人と自然の絆を共に創ることを目指し、自然環境及び生活環境にやさしい各種生物の生息地の修復・再生・造成に関する事業等を行い、地域住民が持続可能な癒しと安らぎが享受できる自然環境・生活環境づくりに寄与することを目的とする。主にホタルの飼育と放流適正地の整備を行なう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの飼育 ・フットワークがよい ・他団体との連携
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・会員の増加 ・活動費の確保 ・教育機関との連携 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・県下のホタル飼育団体の連合 	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	22
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		4
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		1
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		3
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		2
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		3

2. 広報を活かす力	合計:	21
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		3
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		2
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		3
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		3
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		2
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		2
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		3
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		3

3. 組織を育てる力	合計:	26
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		3
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		3
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		4
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 4 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 4 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 3 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 1 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 29

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 4 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 4 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 3 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 22

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 3 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 2 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 1 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 3 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|